



小川町イメージキャラクター
すたむ
星夢ちゃん

路線バスで 小川町の 観光名所を巡る 秋の旅へ 出かけませんか。

T H E A U T U M N T R I P



秋の小川町を便利に手軽に旅する1枚。

すたむ

小川星夢フリーパス

大人580円／小児290円 発売期間＝8月26日～11月30日

今度は、紙の切符に加えて、デジタルチケットが新登場。（大人券のみ）

※デジタルチケットはスマートフォンアプリケーション **バスモリ!** のみでの発売です。

紙の切符は、小川町駅前観光案内所「むすびめ」／三代目清水屋小川町駅前店／川越観光自動車森林公園営業所で発売。



デジタルチケットアプリケーション
「バスモリ」二次元バーコードはこちから→





1 東昌寺

東昌寺の薬師堂は、鎌倉幕府最後の將軍となった守邦親王が当地に逃れ、仮寓して再起を期した際、この薬師堂が御門の鬼門に当たることから信仰されたと伝えられています。また春にはしだれ桜の名所としても親しまれています。

「角山」下車徒歩5~10分

2 池田兜川畔芭蕉の句碑

「桟(かけはし)や 命をからむ 菱可津ら」これは新しい道が出来て喜んでいる地域の人々の様子を説いた芭蕉の句で、後世に伝えるべく設置されたものです。

「角山」下車徒歩10分

3 おがわ温泉花和楽の湯・カワラホテル

その昔、ここには製瓦工場があつたことから「花和楽(かわら)の湯」と名付けられています。敷地にはホテルも開業し、小川町の新たな観光拠点ともなっています。

「小川温泉花和楽の湯」下車すぐ

4 小川町観光案内所・小川町移住サポートセンター「むすびめ」

小川町内の観光案内はもとより、お土産や特産品の販売も行っているほか、移住に関するご相談(要予約)も行っています。また、バスの乗車券販売も行っております。

「小川町駅」下車すぐ

5 コワーキングロビーNESTo

「働く、憩う、集う。小さなまちの大きなロビー」をテーマに、建築から約100年の石蔵を改装して生まれたコワーキングロビーNESTo。原則会員制ですが、併設のカフェはどなたでも利用可能です。

●「小川町役場入口」下車徒歩4分
●「駅入口」下車徒歩4分 ●「小川町駅」より徒歩5分

6 八宮神社

八宮(やみや)神社は旧小川村の総鎮守で八柱を祭神としていることが名称の由来です。本殿は天保4年(1833)の建築でその精巧な彫刻をもつ寺社建築の中でも、年代の特定できる好例として県の有形文化財にも指定されています。

「八宮神社入口」下車徒歩5分

9 埼玉伝統工芸会館

改装のため休館中

7 小川町和紙体験学習センター

もともとは埼玉県の和紙研究施設であったものが小川町に移管され、現在では手漉き体験(要予約)ができるほか、和紙で作られた作品等も見学することができます。歴史ある建物も魅力です。

●「本町」下車徒歩5分
●「小川町役場入口」下車徒歩10分

8 カタクリとオオムラサキの林

昔の小川町の里山風景を取り戻すと地域住民が保護活動をはじめ、今ではあたり一面にカタクリが咲き誇る一大群生地となっています。敷地内には休憩所を兼ねた展示館も設けられております。

「小学校東」下車徒歩10~15分

10 西光寺

「大寺」の通称で知られる西光寺は、元々阿弥陀如来をご本尊としていましたが、元禄6年(1693)に寺を改築した際、釈迦牟尼仏に変更されたと伝えられています。春になるとしだれ桜の名所としても親しまれています。

「伝統工芸会館前」下車徒歩10分

11 仙元山見晴らしの丘公園

小川町が一望できる仙元山からは、晴れた日には筑波山・男体山・赤城山・榛名山などの山々も一望できます。またこの公園の目玉でもあるローラーすべり台は、子どもから大人までみんなで楽しめるすべり台です。

「八宮神社入口」下車徒歩35分~40分

12 カタクリとニリンソウの里

例年、3月下旬~4月上旬が花の見頃となります。地元住民等の手により手入れが行われ、昔の里山風景が蘇り、今では一面美しいカタクリとニリンソウの群生地になりました。

「白根」下車徒歩10分

13 旧下里分校分校カフェMOZART

平成23年(2011)に廃校となった旧小川町立小川小学校下里分校。貴重な木造校舎がそのまま残っています。校舎を利用した「分校カフェMOZART」が併設されている他、春には桜が咲き誇り訪れる人々を魅了しています。

「下里」下車徒歩10分

14 下里観音大聖寺

暦応3年(1340)に開創の由緒正しき寺院で、「厄除安産子育観音」としても親しまれています。境内の法華院には国指定重要文化財の石造法華供養塔があります(但し要拝観料)。

「下里」下車徒歩15~20分



バス路線・バスの運行に関するお問い合わせ

川越観光自動車株式会社 0493(56)2001
<https://www.kawagoebus.jp/>

小川町の観光に関するお問い合わせ

小川町観光案内所「むすびめ」 0493(74)1515
<http://www.kankou-ogawa.com/>

バスで訪ねてみませんか?

沿線観光施設案内

小川パークヒル線・みどりが丘循環線

小川町

沿線観光施設案内

小川パークヒル線・みどりが丘循環線

掲載の写真は全てイメージです

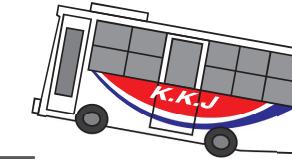


小川町
イメージキャラクター
すたむ
「星夢ちゃん」

15 普光寺

「小川厄除大師」とも呼ばれる普光寺は、中爪の大師様とも親しまれ、1月3日には火渡り修行も行われます。くすぶっている火の上を素足で渡る荒行で、新年の多幸を祈って挑戦します。

「六丁目下車」徒歩15分
1月3日に限りシャトルバス運行
(詳細はお問合せください)



掲載の情報は令和5(2023)年6月15日現在の情報です。
変更となる場合もございます。お出かけ前には今一度確認の上、バスを使って楽しい一日をお過ごしください。
※掲載の写真は全てイメージです

1月 普光寺火渡り修業



毎年1月3日の火渡り修行は、くすぶっている火の上を素足で渡る荒行で、新年の多幸を祈って挑戦します。

場所: 普光寺 15

1月 楢かしき



楢(こうぞ)かしきとは、和紙の原料となる楢を蒸して木と皮を取りやすくするための伝統的な作業で、冬の風物詩ともなっています。小川町では「かずかしき」とも呼ばれます。

場所: 小川町和紙学習体験センター 7

2月 酒蔵まつり (旧:酒造めぐり)



小川町は良質の水と造り酒屋に適した気候から、古くから関東灘の異名を持った名醸地です。蔵の見学や試飲だけで無く、グルメも楽しめるイベントで、無料シャトルバスも運行します。
※開催時期については、別途おたずねください。

場所: 小川町内各地(シャトルバスあり)

3月 カタクリまつり



3月、この一帯の自生地には薄紫色のカタクリの花が咲き誇ります。地元住民等の手により手入れが行われ、昔の里山風景が蘇り、今では一面美しいカタクリとニリソウの群生地になりました。

場所: 西光寺駐車場周辺 10

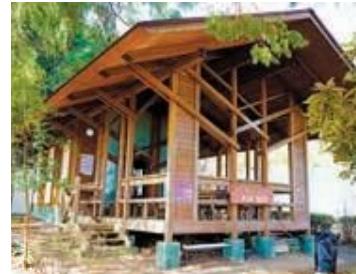
4月 下里さくら祭り



平成23年(2011)に廃校となった旧小川町立小川小学校下里分校。校庭には今尚桜が毎年咲き誇り訪れる人々を魅了しています。

場所: 旧下里分校 13

6月 オオムラサキ放蝶会



地元有志によって育てられた国蝶のオオムラサキを放蝶する催しで、貴重な生物が生息可能な環境を守っていけるよう知ってもらう取り組みとして行われています。

場所: カタクリとオオムラサキの林 8

7月 小川七夕まつり



小川和紙を使い造られた絢爛豪華な竹飾りは、小川和紙の普及と啓発を願って始まったものです。小川和紙をふんだんに使った七夕飾りが見どころとなっています。

場所: 小川町役場周辺 4 5 など



11月 小川町商工祭



商工祭は地域商工業者による商品や製品の販売を行い、消費者とのふれあいを通じて郷土愛の醸成や地場産業の振興と魅力あるまちづくりの場とすることを目的に開催しています。

場所: 小川町役場周辺 5 など

12月 小川和紙マラソン大会



師走の小川町を駆け抜けるマラソン大会です。

場所: 小川町内



PICK UP!

オーガニックビレッジ宣言

オーガニックビレッジ宣言とは、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村が宣言するものです。小川町でも令和5年5月に埼玉県内で初めて宣言しました。

小川町では、昭和40年代中頃から下里地域を中心に有機農業が営まれ、食の安全・安心はもとより循環型の農業として実践されてきました。

その取組に共感し、同地域で就農した農業者を中心に栽培技術の実証や創意工夫を重ね年々有機農業の取組を拡大し、現在では町内全域に広がりました。埼玉県内でも有数の有機農業が盛んな地域となっています。

